

# 生浜地域誌

第70号  
2024.6.30  
発行  
NPO 法人  
ちば・生浜  
歴史調査会  
電話  
080-5387-  
2592

令和6年度 賛助会員紹介

【賛助会員様ご芳名】

ご継続・ご入会ありがとうございます。  
(生浜)石橋幹男様・小木曾和夫様・永井紀子様・  
中島義則様・内河富美子様・小林義正様・太田圭右様・久野敏夫様  
(はまの台) 飯島正幸様 (生実) 今井吉彦様・大和久観浄様・  
重俊院様・田鎖かづ子様 (市川市) 小田京子様 (千葉寺)菅崎量進様  
(院内) 松井清子様 (寒川) 野老和夫様 (四街道)吉川綾子様

## 行事案内☆☆☆♪

体験 講座名 「布ぞうりづくり」  
…快適ライフのお手伝い…  
残りの布切れで草履を編む。  
フローリングのお部屋用に最適。  
エコで省エネ、ボケ防止・・・  
古布をリサイクルします。  
日時 令和6年7月13日(土)  
9:30～11:30  
会場 「浜野会館」(浜野町1242番地)  
定員10名  
参加費 鼻緒代 100円  
持ち物 約7センチ巾×長さ100センチ程度の布切れを20本くらい(1足分相当)。もしお手持ちならば、「物差し30センチ、めうち、ハサミ、裁縫セット」。  
申込締切 7/6 土

体験 講座名 「まが玉づくり」  
…自分でアクセサリーをつくってみませんか…  
今回は四角いロウ石を紙やすり等でけずってオリジナルな「まが玉アクセサリー」をつくります。磨けば磨くほど、まるで宝石のようにツヤがでてきます。  
日時 令和6年7月28日(日)  
9:30～11:30  
会場 「旧生浜町役場庁舎」  
定員15名  
参加費 500円 (材料費として)  
小学4年生以上、それ以下の場合は保護者同伴の事。  
〇ちょっと汚れてもよい服装でお越しください。ロウ石をけずった粉がつくことがあります。  
申込締切 7/20 土

### 申込はこちら

NPO 法人ちば・生浜歴史調査会  
(旧生浜町役場庁舎管理受託者)

電話 043-265-8816(火・木・土曜日 9:30～16:30)

上記日時以外は、080-5387-2592へ(伝言・ショートメール可)

旧生浜町役場庁舎 千葉市中央区浜野町1290-3(火・木・土 9:00～16:30 開館)

### 令和6年度行事予定

月	種類	日	曜・時刻	講座名	内 容
6	講習	19	水13:00～	★古文書学習会	椎名上郷御用
7	体験	13	土9:30～	★布ぞうり作り	残りの布切れで草履を編む
	講習	17	水13:00～	★古文書学習会	椎名上郷御用留
9	体験	28	日9:30～	★まが玉づくり	まが玉を作る。旧生浜町役場
	講習	18	水13:00～	★古文書学習会	椎名上郷御用留
10	講演	20	日9:30～	★歴史講座①	塚原勇人先生(埋蔵文化)
	講習	16	水13:00～	★古文書学習会	椎名上郷御用留
11	体験	25	金9:30～	★かごを編む	荷ひもを利用
	講演	10	日9:30～	★歴史講座②	『浜野の神社』今井公子さん
	講習	17	日午前中	★歴史散歩	青少年育成委員会と共催
12	講習	20	水13:00～	★古文書学習会	椎名上郷御用留
	講習	18	水13:00～	★古文書学習会	椎名上郷御用留
1	講習	27	金10:00～	★書初めを習う	書初め指導をします
	講習	15	水13:00～	★古文書学習会	椎名上郷御用留
	講習	19	水13:00～	★古文書学習会	椎名上郷御用留
3	講習	19	水13:00～	★古文書学習会	椎名上郷御用留

70号①



## 残すことの大切さ

記憶に残すことは簡単かもしれない。でも時間が経つと記憶は風化して忘れ去られる。また歪(ゆがめ)められる場合が多い。正(ただ)しく記憶する事や記憶しつつしておく事はなかなか困難である。

科学の力で、電子の機能で今やクローン動物や植物や人工頭脳が闊歩する時代になった。それらを駆使したとしても『本物が残っている事』を超える保存法はない。



郷土の過去を並べてみると様々なことが見えてくるし、わかってくる。本会は今までに、のべ750点の郷土の民具を保存管理してきた。主には農業・漁業・生活の分野に分けて旧生浜町役場に展示公開してきた。

これらを見て、年配者は懐かしく思い、若い方はその使われ方や仕組みを知って納得し感心する。子供たちは面白がり想像を膨(ふく)らませている。

これらの民具のおかげで我々は生きて来た。先人の足跡として民具は浜野町山王にある「浜野郷土資料館」に収納されてきた。現在浜野町の所有者として保管されている。無下(むげ)には捨てられない。

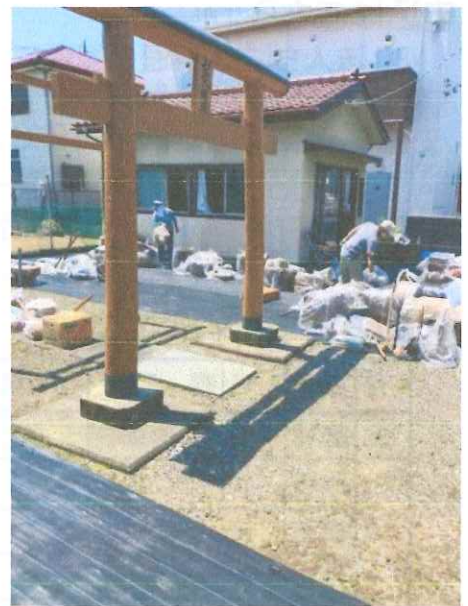
<浜野郷土資料館>

### 本物が残っている事

90年建っている旧生浜町役場庁舎は正(まさ)しく本物が残されている絶好の例である。一步入ればその昔を肌で感じる事ができる建物である。千葉市では「有形文化財」に指定して一般公開しており、そこに浜野町の民具も展示することで絶好の郷土資料館となっている。



<民具に通し番号を付けてビニール袋に入れ収納>



<写真撮影>

### 残す仕事

「形あるものはいつかは壊(こわ)れる」、これら750点それぞれがもう壊れかけてきている。

我々が「床の間に飾れるくらいに・・・」と汚れを落として整理してきた仕事も次のステージに入る。それは図録として残す事である。

浜野町山王の「浜野郷土資料館」に多くの民具が保管されておりそれらをリストアップして写真に収めている。説明も加えてデータベースにして保存、そして紙媒体としての図録作成作業に現在我々は取り組んでいます。(白井孝・記)

